

令和6年度 定例会

一般質問 (抜粋)

令和7年2月

1. 子育て支援と教育の質の向上のために「ブックスタート」事業の実現を！

【佐藤幸雄議員】私は、令和5年度 第3回定例会の代表質疑の中で、23年前に我が会派の議員より、イギリスで識字率の低下を克服しようという背景で始まった「*1ブックスタート」事業の淵源を取り上げながら、事業の導入を求めていることに対し、現在まで実現されていないことを指摘した。

ご承知の通りブックスタートは、赤ちゃんや子どもたちに本を読み聞かせたり、親子で読書の時間を楽しんだりする活動で、**さまざまな効果が発揮される。**

親子の絆が深まることとしては、親が赤ちゃんに本を読み聞かせることで、親子のコミュニケーションが促進され、情緒的な絆が深まることで、愛情を感じながら一緒に過ごす時間により、**子どもに安心感を与えること。**

社会性や感情の理解では、絵本やストーリーの登場人物を通して、他者との関係や感情の理解が深まることで、感情を表現したり、**他人の気持ちに共感したりする方法を学ぶことができること。**

そして習慣化による効果では、小さなころから本を読む習慣をつけることで、学習に対する前向きな態度が育ち、自分で本を読む楽しさを知り、**読書が好きになることが多いこと。**

これらの効果を早期に始めることで、子どもにとって非常に有益な学びの基盤が築かれるのであり、市民図書館の利用増加にもつながると思うのである。



令和6年度 第1回定例会
一般質問 令和7年2月19日

*1ブックスタートとは、赤ちゃんとその保護者に絵本や子育てに関する情報が入ったブックスタート・バックを手渡し、絵本を介して心ふれあうひとときをもつきっかけをつくる活動である。

事業の財源としては文京区の「子ども宅食プロジェクト事業」で活用していた「*2ふるさと納税」を提案する。

「ふるさと納税」について、文京区では基金を設置して全額を積み立て管理している。

また、八王子市では、ふるさと納税を活用して具体的に「子育てナンバーワンのまちづくりを応援」の事業項目に「ブックスタート事業の推進」と使途を明確にするなど、更なる透明性と、寄附者の満足度を高めることで**寄附金の拡大につなげている。**

本市においても個人や企業団体等により、このような事業に賛同していただき、ふるさと納税を更に拡大していただけるものと信じるものである。

基本的には本市のすべての子供たちが、可能な範囲から「ふるさと納税」を活用して**ブックスタートの実施を求めるが、所見を伺う。**

* 中面につづく

S A T O Y U K I O

佐藤 ゆきお

泉区 市議会通信 VOL.39

発行元／ 仙台市議会議員 佐藤 幸雄
仙台市泉区南光台1-56-15-1 TEL 022-272-4863
2025年3月発行 E-mail yukio@sendai-komei.jp

一人の声を市政につなぎます



HP QRコード

仙台市令和7年度 予算(概要) (令和7年4月～令和8年3月)

全体予算規模 合計 **1兆2,633億円** (令和7年度仙台市当初予算(案)の概要より)
一般会計 **6,757億円** (過去最大規模)・特別会計 **3,309億円**・企業会計 **2,567億円**

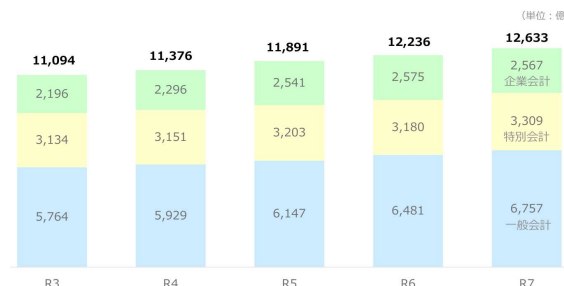
令和7年度予算の施策体系(主な重点施策)

柱1 多様なひとの力が生きるまち 479億4,676万円余
年齢や性別、国籍、障害の有無などの「ちがい」を越えて多様な主体を受け入れる環境の整備や、あらゆる人が孤立せずに、安心して暮らせる地域社会の実現を目指す事業。

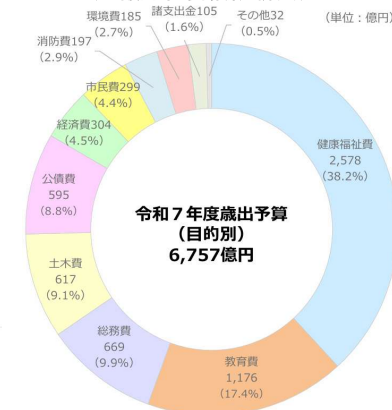
柱2 こどもたちが健やかに育つまち 796億2,046万円余
「子育てが楽しいまち・仙台」の実現に向け、結婚から出産、子育てに至るまでの切れ目のない支援の更なる充実や、次世代を担うこどもの育ちを支える環境づくり、未来を担うこども・若者の挑戦を応援する取組を推進する事業。

柱3 ひとが輝く舞台となるまち 415億8,949万円余
起業支援や地元企業の人材確保・成長支援、国内外の企業誘致に取り組むとともに、交流人口を拡大し、宿泊税も活用したこれまでの枠に捉われない観光を基軸とした都市活力の創出を図る事業。
特性を生かしたエリア再整備等による魅力を創出するとともに、安心安全な暮らしの確保を進める事業。

◎総額(全体)の推移 仙台市予算概要より



◎R7年度 一般会計 歳出予算(目的別)の内訳
(R7年度仙台市当初予算(案)の概要より)



***ふるさと納税とは**、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設された。自分の生まれ故郷に限らず、どの自治体にもふるさと納税を行うことができるので、それぞれの自治体がホームページ等で公開している、ふるさと納税に対する考え方や、集まった寄附金の使い道等を見た上で、応援したい自治体を選んでいく。特に寄附金の使い道については、ふるさと納税を行った本人が使途を選択できるようになっている自治体もある。

*表面よりつづき

【市長】ブックスタートは、絵本のプレゼントと読み聞かせを通して、親子で読書の時間を楽しむことで、赤ちゃんの頃から本に親しみ、こどもの安心感や親子の絆の醸成に資するものと認識をしている。

これまで、他都市のブックスタートの取組みを調査するとともに、絵本の読み手となるボランティアの育成にも努めてきたところであり現在、対象となる児童の月齢や、健診・育児教室の場の活用など効果的な事業のあり方について検討を進めているところである。

今後、ふるさと納税の活用も視野に入れ、可能な範囲から進めていくことも念頭に置きながら、赤ちゃんが絵本に触れる機会の充実に向けて、検討を深めてまいりたい。

【財政局長】紹介の事例では、返礼品なしのふるさと納税型クラウドファンディングを活用し、基本的に全額を基金に積み立て、個別の事業に充てる仕組みとなっている。

本市では、いただいた寄附は事務経費等を除いて基金に積み立て、選ばれた政策分野の趣旨に沿った事業に充当している。寄附メニューの設定の仕方につきましては、一長一短はあるが、さらなる寄附の促進につながるよう適宜見直しを図ってまいりたい。

また、寄附金の使途につきましては、主にホームページや*3ポータルサイトにて発信しておりますが、寄附者に活用事業を紹介し、応援いただく方を増やす大切な取組みである。他都市の事例も参考にしながら、寄附金の使途について、より分かりやすいものとなるよう、明確化に努めてまいりたい。

***ポータルサイトとは**、様々な情報やコンテンツの入口になるWebサイトを指す。ポータル（Portal）とは、「入口」「玄関」の意味。分かりやすい例が『Yahoo! JAPAN』である。検索エンジンとしての玄関口がメインであり、そこからニュースや天気予報、株価の情報など、さまざまなコンテンツを閲覧する入口ともなっている。他にも『YouTube』や『食べログ』もポータルサイトの一種。ユーザーが情報を検索する入口であり、ロコミや動画を投稿できる玄関口となっている。

文京区図書館のブックスタート事業

（文京区図書館HPより）

やさしい語りかけは、赤ちゃんの言葉と心をはぐくみます。文京区では、子育て支援の一環として「ブックスタート」を実施しています。「ブックスタート」は、肌のぬくもりを感じながら言葉と心を通わす、そのかけがえないひとときを「えほん」を介してもつことを応援する運動です。

いつ、どんなことをするの？保健サービスセンターで実施されている4か月児健診時に、赤ちゃんにおすすめの絵本などが入っている「ブックスタートバック」をメッセージや説明を添えながら図書館員が手渡します。赤ちゃんへの読み聞かせや、読書相談もいたします。



日々の地域実績



整備後



カーブミラー設置 安全対策



整備後



カーブミラー設置 安全対策

南光台南3丁目付近

日々の活動



秋の火災予防運動「南光台分団」
（泉消防署 八乙女分署）11月12日



公明党結党60年記念街頭演説会
（泉セルバ前）11月17日



経済環境委員会視察 KII+O:
（神戸市）11月19日



仙台商業硬式野球部OB納会
（仙台商業グラウンド）11月23日



仙台市中央卸売市場 初セリ（花き）
（仙台市）1月4日



令和7年度（はたちの集い）
（太白区）1月12日



南光台第一町内会 新年会
（二丁目集会所）1月19日



防災環境都市調査特別委員会 視察
（堺市）1月23日



会派視察 群馬県版MaaS事業
（高崎市）1月29日